

認知症の中核症状と周辺症状

中核症状

脳の細胞が壊れることによって起こります。

- 1 記憶障害
  - (1)新たに物事を覚え込む働き(=記憶力)が低下する
  - (2)覚えたことを一定期間保持する働き(=保持力)が低下する
  - (3)覚えたことを思い出す働き(=想起力)が低下する
  - (4)覚えたことを間違いないと確認する働き(=再認)が低下する
- 2 見当識障害
  - 時間や場所、人などの見当がつかなくなる。季節感・昼夜の区別・トイレの場所・人の区別がわからなくなり、迷子になるなど
- 3 理解・判断力の障害
  - 言葉の意味がわからず、正しく使えない(=失語)
  - 目・耳・鼻・触覚など感覚器官に大きな異常がないにもかかわらず、見たり聞いたりさわったものが何であるかわからない(=失識) そのために
    - (1)考えるスピードが遅くなる
    - (2)二つ以上のことが重なると処理できなくなる
    - (3)些細な変化やいつもと違うことが起こると混乱する
    - (4)観念的な事柄と現実的・具体的なことが結びつかない
- 4 実行機能障害
  - 目的に合わせて手順を考えたり、段取りを付けたりする働きが低下する(=実行機能)

その他その人が培ってきた、特に長所的な精神の働き(その人らしさや人となり)が失われる(人格の障害)

これらの中核症状のため、周囲で起こっている現実を正しく認識できなくなります。

周辺症状

本人がもともと持っている性格・環境・人間関係・中核症状など様々な要因が絡み合って起こります。「不安・焦燥」「うつ状態」「幻覚・妄想」「徘徊」「興奮・暴力」「不潔行為」「せん妄」その他身体症状(麻痺・歩行困難など)

認知症の方は「何もできない」わけではありません。保たれている能力が活用できるように、支援する人(手助けをしてくれる人)がいれば、できることはたくさんあります。

本人を否定したり、敬意を欠いた言動は絶対にとるべきではありません。それとなく手助けをして、成功体験に結びつけることができれば、笑顔が戻り、安定します。

記憶は無くしたかもしれませんが、人生を失ったわけではありません。

今回は「認知症の方への介護のポイント」についてご案内します。

NPO法人ほっとあいからのご案内

「ほっとする・あったかい・助け合い・愛」

特定非営利活動法人ほっとあいは、平成10年の設立時より「住み慣れた地域で暮らしたい」と願う人々の思いに寄り添いながら活動を続けてまいりました。

その時々様々なニーズに対応するために多様なサービスを展開しています。

みなさまのまわりで、ほっとあいを必要とされる方がいらっしゃいましたら、担当の者までお声がけ下さい。

各事業の担当者がご相談を承ります。 ☎0224-52-8555



四月は別れの時、四月は新しい出会いの時と言われます。みなさんのお宅でも、卒業式や入学式、就職等々・・・様々な変化があるのではないのでしょうか。

私たちは一日一日が新たな出会いの日と考えて、利用者のみなさんと一緒に過ごしたいと思っています。

今月は通所介護ほっとあいで行っている口腔ケアについてお話しいたします。

口腔ケアの一番の目的は、口の中を健康に保って「おいしく食べる」「感染を予防する」ことにあります。ほっとあいででは次のような取り組みを毎日行っています。

- ①来所時にうがい手荒い(必要な方には歯磨き)の声かけ、見守り、支援
- ②水分補給(在所中に600~800ccをめやすに)

③昼食前(集団)口腔体操、嚥下体操、発声練習、顔面体操、唾液腺マッサージ、上下肢運動、そしゃく運動

④昼食後(個別)歯磨き、舌苔除去、うがいの声かけ、見守り、支援

⑤講話「虫歯予防」「誤嚥性肺炎や感染予防」など

お一人お一人の状態に合わせて確実に行っていただけるように工夫しております。

3月の壁画

3月の壁画は、春をたくさん感じられる作品を作っていました。



桜の花はもちろんのこと、チューリップや菜の花、てんとう虫など色とりどりにきれいに並んでいます。

また、朝の会の際に「春」をテーマにして短い詩を作っていました。最初は難しくそうに考えておられましたが、1つできると次々に浮かんできたようです。いくつかご紹介いたします。

白石川がきれいに流れ  
 桜の花が咲き 私大好き  
 春の雨しとしと 晴れば暖かくなる  
 つぼみもふくらむさくら花  
 あたかきこころ  
 春は桜や桃など一斉に  
 咲いて華やぎを感じず  
 ふと見ればさくらのつぼみ  
 えだに有るたのしみに持って  
 雪がとけ 川にきれいな水が流れ  
 鳥もさえざり 心みたさる



どれも「春の風景」を感じさせてくれますね。またみなさんで考えていただき、ここでご紹介したいと思えます。

4月の行事

- ・五感を使って歩こう
- ・(桜の花を見ながら土手を歩きましょう)
- ・「紙芝居」などを計画しています。